

2019年12月23日



日本海ガス絆ホールディングス株式会社  
日本海ガス株式会社

## 日本海ガスショールーム Prego で自家消費型の太陽光発電・蓄電池設備の 運用開始のお知らせ

～環境省 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金採択事業～

日本海ガス絆ホールディングスグループの日本海ガス株式会社（本社：富山市、代表取締役社長：新田 八朗、以下「日本海ガス」）は、5月17日付けでお知らせしておりましたショールーム Prego の自家消費型太陽光発電・蓄電池設備が完成し、この度運用を開始しましたことを以下のとおりお知らせいたします。

日本海ガス絆ホールディングスグループは、今後もCSR活動を継続し地域のレジリエンス向上と低炭素化を推進することで、SDGs実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

### 記

#### 事業目的：

ショールーム Prego に太陽光発電設備・蓄電池を導入し、「災害時のエネルギー供給」と「平常時のCO<sub>2</sub>排出抑制」を同時実現いたします。また、自然災害が発生した際、自治会等からの要請に応じて開所する一時避難場所として「富山市災害時等協力事業所登録制度」に登録されました。

#### 補助金事業概要：

日本海ガスは環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金「地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」に県内民間事業者として初めて採択され、事業を実施いたしました。この補助金は、地域の防災拠点（避難施設等）に再生可能エネルギー設備・蓄電池等を導入し、「災害時のエネルギー供給」と「平常時のCO<sub>2</sub>排出抑制」を同時実現する事業を対象とするものです。

#### 導入設備概要：

設置機器	自家消費型太陽光発電設備 11.7kW リチウムイオン蓄電池ユニット 11.2kWh
運用開始	2019年12月17日
設置場所	富山市黒崎 405-6 日本海ガスショールーム Prego

## 導入の効果：

### ① 地域のレジリエンス強化

日本海ガスは、富山市の災害時等協力事業所登録制度に基づき、ショールーム Prego を災害時の一時避難場所として登録しており、災害時には、地域住民を危険回避のために必要な1日～数日間受け入れをいたします。

館内に設けられた防災エリアでは、停電時でも、蓄電池から電気を供給することで、LED照明が使用できるほか、コンセントでスマートフォンなどを充電することもできます。同所には、既に天然ガスエンジンコージェネレーションシステムを設置しておりますが、本事業により、災害時に周辺地域が長時間にわたり停電した場合も、より安定して電気を使用できるようになりました。

これにより、日本海ガス絆ホールディングスグループは、地域のレジリエンスを強化するとともに、地域住民のみなさまの安全・安心な暮らしに貢献してまいります。

### ② 低炭素化への貢献

太陽光発電設備で発電した電気は、売電することなく、すべて館内で自家消費をいたします。CO<sub>2</sub>を排出する系統からの電気の購入量を減らし、年間5.41tのCO<sub>2</sub>排出量を削減いたします。

これにより、日本海ガス絆ホールディングスグループは、地球にやさしい環境づくりに貢献してまいります。

以上



自家消費型太陽光発電設備



リチウムイオン蓄電池ユニット

#### ■リリースに関するお問合せ先

日本海ガス絆ホールディングス株式会社  
総務人事部 総務広報グループ 金瀬、清水  
TEL：076-433-1212／FAX：076-442-3025

#### ■設備に関するお問合せ先

日本海ガス絆ホールディングス株式会社  
4D推進室 牧田  
日本海ガス株式会社  
総務部 総務グループ 伊東  
TEL：076-443-2630／FAX：076-443-2628